

■ 満足度の高い観光地づくり
スマートツーリズムを推進するとともに、ワインツーリズムやMICEなど、多様なニーズを満たす観光地づくりなどに取り組みます。

(政策展開の方向性)
 観光アプリや顔認証などデジタル技術を取り入れたスマートツーリズムを推進します。また、サイクルツーリズムやユニバーサルツーリズム、農村ツーリズム、離島ツーリズム、ワインツーリズムなど多様なニーズを満たす観光地づくりを加速するとともに、MICEによる地域経済の活性化や新たなインバウンドの取り込みなどを進めます。魅力ある観光地づくりを進めていくための新たな財源確保の検討に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
誘客活動の推進	<p>○首都圏や地方中核都市での各種PRやマスコミ、旅行会社を対象とした観光情報交換会の開催【4回のリアル、オンライン3回配信・総視聴者数2,621人】のほか、道内空港と直航便が就航している国・地域等に向けたWeb・SNS等【新規フォロワー数：国内70,991名、海外127,562名】を通じた情報発信などにより、国内外観光客の誘客促進</p> <p>○全国で開催される観光PR催事【全国26都市31会場】へ出展したほか、道内各地【4地域】の特性を活かした国内外プロモーション事業等【国内プロモーション16件、海外プロモーション8件、パブリケーション7件、地域支援事業12件、Webコンテンツ作成】を地域と連携して実施</p> <p>○R6年度のMICE誘致支援事業において、北海道MICE誘致促進助成金により13件の大型コンベンションの誘致につながったほか、商談会の実施【商談件数91件】、MICEエキスポへの出展【商談件数100件】、ファミトリップの実施【1コース】や、韓国でのセミナー・商談会及びセールスコールの開催等を実施</p> <p>◇世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2025」に出展し、知事のトップセールスによる北海道観光のPRを実施【R7.9:Aichi Sky Expo】</p>	0503
アドベンチャートラベルの推進	<p>○R5.7月に運営を開始した「北海道アドベンチャートラベルガイド認定等制度」において、R7.3月末現在で61人が資格を取得</p> <p>○ATWSの主催団体・ATTAの主催する商談会「Adventure ELEVATE North America」に出展し、本道のATツアー商品のPRを実施【R7.5】したほか、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2025チリ」に出展【R7.10】し、本道のATに関する魅力を発信</p> <p>○新たなAT市場の開拓として、シンガポールや台湾などアジアにおけるAT商品の販売促進に向け、アジア圏の旅行会社を招聘したツアー及び商談会を実施</p> <p>○地域におけるAT顧客の受入体制強化のため、各地域に専門家を派遣する「ハンズオン支援」を実施</p> <p>○アドベンチャートラベルの受入拡大に向けて、ガイドの育成研修を道内各地で開催【R5：24回、R6：50回】</p>	0504
観光地づくりの推進	<p>○地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業において、地域のDMOや観光協会等が行う商品造成等に対し支援を実施【R6：DMO枠7件、広域連携枠14件、地域単独枠22件】</p> <p>○宿泊業への就職に繋げるために職場見学会や出前講座等を実施【R6：職場見学会17回、出前講座37回】</p> <p>○通訳案内士やガイドを目指す人を対象とした外国語ガイド育成研修、観光関連事業者や団体向けインバウンド対応研修を実施【R6度実績 ガイド育成研修計579人参加、事業者向け集合研修5回、派遣型研修35回】</p>	0505

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

<p>農村活性化対策の推進</p>	<p>○受入人材の育成・確保に係る農業者等の意欲向上を図るための農村ツーリズム人材育成セミナー【R6参加者：127名】を開催するなど、農村ツーリズムの受入体制強化に向けた取組を実施</p> <p>○農業者や農業者と農業関係以外の団体・教育機関系機関などが連携して行う農村と都市住民の交流活動や活動の支援【R6:3件】、情報誌の発行【年2回】、道のHP、SNSによる情報発信等を実施【ふれあいファーム登録数(累計) R6:609】</p> <p>◇都市と農村の交流を拡大するため、農山漁村の豊かな自然や、食、歴史・文化、農林漁業・生活体験などを観光資源として活かし、農業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで農泊や教育旅行に取り組む「農村ツーリズム」を推進</p>	<p>0605</p>
<p>その他</p>	<p>◇ワインや日本酒、地場産農産物など食の魅力を活かした食観光や、グリーン・ツーリズムやサイクリングなど地域資源を活かした体験型観光を推進【空知総合振興局「農村ツーリズム展開方針」】</p> <p>◇多数のワイナリーを有する後志の特徴を生かしたワインツーリズムを積極的にPRするとともに、サイクルツーリズムなど多様なツーリズムと合わせて、地域の取組を振興局公式 SNSアカウントで国内外向け(英語翻訳付)にPRを実施【後志総合振興局「農村ツーリズム展開方針」】</p> <p>◇離島などの雄大な自然に恵まれた農・海産物を活かした食と観光の連携や体験型・滞在型観光の推進【宗谷総合振興局「農村ツーリズム展開方針」】</p>	<p>—</p>

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成